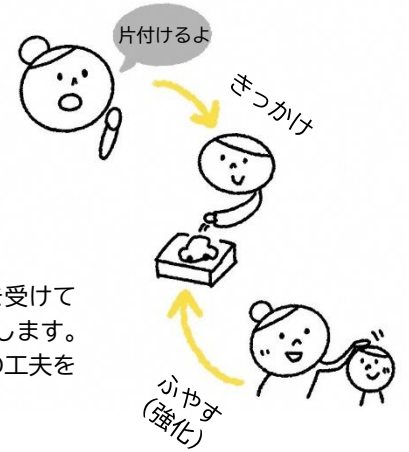


アイデア発見シートとは

困った行動の前後の状況を振り返り、解決のアイデアを見つけていくためのツールです。こどもの困った行動を減らし、いい行動を引き出すアイデアは、すでに普段の関わりに隠れています。そのアイデアの効果的な組み合わせを、一緒に見つけてみましょう。



はじめに

1. 行動をみよう

つい「わがままだから」などと、性格に注目してしまうことはないでしょうか。性格を変えるのは難しくても、行動は変えることができます。



2. 大人が変わろう

行動は、単発では起こりません。きっかけを受けて行動が起こり、その後の対応によっても変化します。困った子を変えるのではなく、大人が前後の工夫をしましょう。

記入編

①困った行動は？

②行動の背景は？

③現在の対応とその反応は？

④代わりにしてほしい行動は？

⑤事前のアイデアは？

⑥対応のアイデアは？

1. 現状を書こう（記入箇所①～③）

記入のポイント

- ・1枚に、1つの場面だけ。
- ・あいまいにではなく、具体的に。
- ・「～しない」ではなく「～する」の形で。

- (例) ×「やることをやらない」
○「着替えをしないでテレビを見続ける」



2. アイデアを書こう（記入箇所④～⑥）

困った行動の代わりにしてほしい行動をイメージして、それを引き出すために必要な「事前のアイデア」と、行動が起きた時にどうするのかという「対応のアイデア」を見つけて書きましょう。



園や学校の先生にアイデアをもらおうのもGOOD!

アイデアを考える際、「子育て10のヒント」などのツールも参考にしてください。
子育て10のヒント ▶

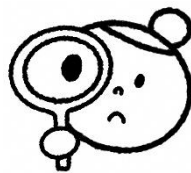


起きている行動の背景（行動のメッセージ）を考えると、こどもへの理解が深まります。
◀ 行動のメッセージ

活用編

1. アイデアを試そう

書き出したアイデアを試して、効果的なものを見つけましょう。どんどん試すと、ぴったりのアイデアが見えてくるかも。



2. アイデアを共有しよう

集まったアイデアは、関係機関（園や学校など）と共有しましょう。うまくいった・いかなかった場面を共有するのも、次のアイデアの材料になります。

